

スクラム十勝

# シンポジウム2018

帯広市民大学講座 道民カレッジ連携講座

今後の十勝の農畜産業の繁栄に貢献するICT

参加費  
無料

2018.11.2(金)

十勝フラザ 2F視聴覚室

芽室の新嵐山から  
十勝平野を望む

開会挨拶

13:30-13:40 農研機構北海道農業研究センター 寒地畑作研究監 小田俊介

## スクラム十勝構成機関の発表

13:40-14:00 「大規模畑作で期待されるロボットトラクタ」

帯広畜産大学環境農学研究部門分野農業環境工学分野 教授 佐藤禎稔

14:00-14:20 「北海道・十勝の農家動向予測 -どうなる？大規模化-」

道総研十勝農試研究部生産システムグループ 研究主任 三宅俊輔

14:20-14:40 「最適な土壌凍結深で、土を良くして収量のアップを実現する情報システム」

農研機構北海道農研大規模畑作研究領域 気象情報利用グループ長 小南靖弘

14:40-15:00 休憩

15:00-15:20 「十勝地域における「土壌診断による飼料用とうもろこしの窒素施肥対応」の実証」

道総研畜試家畜研究部技術支援グループ 主査(技術支援) 渡部 敢

15:20-15:40 「AI(人工知能)を活用した牧草生産の省力化・自動化技術の開発」

家畜改良センター十勝牧場 業務第一課 種子検定係長 森 公象

15:40-16:00 「画像処理技術を応用した車両洗浄装置」

公益財団法人とかち財団 事業部 ものづくり支援課(機械・電子グループ) 研究員 菅原 崇

16:00-16:30 総括質疑・意見交換

閉会挨拶

16:30-16:40 北海道立総合研究機構 畜産試験場 場長 南橋 昭

主催／スクラム十勝 (国立大学法人帯広畜産大学、国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構北海道農業研究センター芽室研究拠点、地方独立行政法人北海道立総合研究機構畜産試験場、地方独立行政法人北海道立総合研究機構十勝農業試験場、公益財団法人とかち財団、独立行政法人家畜改良センター十勝牧場)

共催／帯広市教育委員会、フードバレーとかち推進協議会

事務局／農研機構北海道農業研究センター芽室研究拠点  
(担当: 田引)

TEL: 0155-62-9201 FAX: 0155-61-2127  
E-mail: memuro-kikaku@ml.affrc.go.jp

# スクラム十勝 シンポジウム2018

— 今後の十勝の農畜産業の繁栄に貢献するICT —

スクラム十勝を構成する6つの機関は、フードバレーとかち推進協議会の構成機関として「食」と「農林水産業」を柱とした産業振興に取り組んでいます。今回AI、ロボットや最新の作業機械が人手不足の切り札となるか、どこまで人や生産現場を幸せにできるかをテーマに、各機関の取り組みを紹介します。



## 【シンポジウム会場】

とかちプラザ 2F視聴覚室  
帯広市西4条南13丁目1番地

【定員】 160名

【申込締切】 10月26日(金)

定員になり次第、締切させていただきますので、下記にお早めにお申し込み下さい。

## 【お問合せ先】

農研機構北海道農業研究センター芽室研究拠点(田引)

0155-62-9201

memuro-kikaku@ml.affrc.go.jp

スクラム十勝シンポジウム2018 参加申込書 締切10月26日(金)

農研機構北海道農業研究センター芽室研究拠点

FAX: 0155-61-2127

(担当: 田引) E-mail: memuro-kikaku@ml.affrc.go.jp

所属機関名			
連絡先	住所		
	電話		FAX
	Eメール		
出席者	部署名・役職	氏名	